

すなお

令和2年3月号

おやのことば

ものというものは旬がある。

道理諭せば皆旬がある。

旬が外れると、種を下ろしても
生えるものもあれば、生えんものもある。

旬が外れば覚束おぼつかないもの。

どんなものでも旬しもが外れると、
一花だけで落ちて了たら、どう
もならん。

これから一つの理を聞き分け。

明治二八年五月十二日



会長

今月初旬、教会の表に植えてあつたサクラランボの木を移植しました。駐車場のレイアウトを変更したいと思つてのことですが、私はあまり植木の事をよく知らないので大教会で詳しい先生に電話で尋ねながらさせて頂きました。

今年は皆さんも感じておられるようにとても暖かい日が続いていて、本来二月頃は寒いので木が休んでいる時期のようです。ですから、植え替えるならこの時期にするのが良いとのことでした。それで（今月中にでも移せばいいか）と思つていたのですが、木を見るとつぼみが膨らみかけていて、それで師匠に確認したら、「出来るだけ早く！」ということになり大急ぎで移植しました。

作物はだいたい例年の時期というのがあると思いますが、その時々状況に合わせて段取りを変えて行かなくてはならないこともあります。何に合わせるかというとは天然自然。つまりは神様に合わせるといふことです。これこそが旬です。そうすれば良い芽が出て良い花が咲き、良い実がのります。

神様の御用、用事にも旬がありますので、遅れないように勇んでつとめて下さい。



徳の世界

鈴 代

遙か80年前に私は生まれた。

記憶は一瞬にして、過去に戻る。不思議とも、ありがたいとも思う。

私が生まれ育った幼少時代は戦争の頃。そして敗戦の翌年に

一年生になった。母の帯を袴に作り変えて貰って学校へ通った。

教科書も上級生から譲って貰って学んだ。そして下級生に譲る。

日々の生活は、今では想像もできないような質素な暮らしだった。

誰もがそうだった。多少の貧富の差はあっても、そんなものだと

納得して暮らしていたのも本当だった。

現在社会の豊かな暮らしは当時から見れば誠に長者ぐらしである。

ありがたくてもったいなくて、不自由するのが難しいくらいである。

それでも、更に豊かさを求め、わが身の楽しさばかりをを追い求めれば、

やがて親神様のざねんのお心に触れることは免れないと思う。

私たち、お道を通らせていただくお互いは、本当にありがたいです。

目の前の事ごとに振り回されることなく、わが心の掃除をおこたらず、

感謝とお礼の心で小さくてもいい、徳積みの日々を通らせて頂きたい。

モノや形あるものはいつか消える。魂についた徳はどんな環境にあっても

この世終わるまで消える事はない。来世へもつながるからありがたい。

神様のことで苦勞する、人様のことで苦勞する、これほど尊い徳積みはない。

私にできる徳積みは何でしょう。

親神様に喜んでいただける今日を明るく励ませていただきましょう。



ご報告

椿（二宮）信代

この度、ご縁がありまして職場の同僚である椿拓也さんと結婚をしました。
今年11月には大阪で式を挙げさせていただく予定です。

結婚を決めるにあたり、自分自身の信仰と向き合うきっかけがいくつもありました。そのうちの1つは義父母とのことです。夫の家はほぼ無宗教と言っていい程の一般家庭です。「信代さんが天理教を信じるのは自由だけれども神棚を祀るのはやめてね」というスタンスで、私は当初嫁ぐという言葉の意味が分

次ページへ

かっていなかったため、神様のことを急にやめるなんてできない！と反発しかけました。

ところが会長さん奥さんに相談したところ、「お嫁に行くとはそういうことだ、これは信代のにおいがけだよ」とお諭しいただき、そのような家へお嫁に行くことこそが神様のくれたにおいがけのチャンスなんだと気づかされたのです。

それから日が経ち、入籍前の先月には義父母が揃って、この瀬戸路の教会へも来ていただきました。私が生まれ、育てていただいた場所を実際に見てもらうことができたこと、会長さんのお話を真剣に聞いてくれたこと全てがありがたい気持ちになりました。「信代さんがこんなに優しい人に育ったのは神様の教えがあったからなんですね」と言っていた時に心から嬉しく思いました。

また不思議なことに、夫の父方の祖母は戦争の頃に香川大教会へ疎開していたそうです。そんな頃から天理教との繋がりがあったのかと驚きましたし、やはり深い縁があったんだなあと思う出来事でした。

今後、形としては神棚をお祀りできませんが、会長さんからすなおの原稿をつとめなさいと教会へ繋がる手立てをいただきました。周りの環境や思いに流されてお道の心から遠ざかってしまわぬよう、心の芯は揺るがすことなく、日々感謝の気持ちで通らせていただきます。それが私の信仰への決意です。

教会ニュース

行事中止の連絡

このたびの新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐ為に、種々の教内行事が中止になっていますのでお伝えします。

＊本部学生生徒修養科（大学の部）＊学生春のおぢばがえり＊中和団少年会おつとめまなび総会＊本部婦人会総会と前日の記念パレード

今後も感染の状況に応じて様々な行事が中止や延期になる可能性があります。その際は分かり次第連絡をしますが、気になる方は事前に教会へ確認の電話を下さい。

瀬戸路分教会エコプロジェクト ～太陽光発電状況～

2月17日検針で1,164kWh発電し、46,094円の売電金額となりました。累計12,927kWh、4,421,857円の総売電金額となりました。

婦人会創立110周年 日々の理御供 報告

2月には56,005円を上級葛城へ運ばせて頂きました。2020年4月までつとめさせて頂きますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。



すなお (立教183年3月号)

通 卷	No.716
発行所	天理教瀬戸路分教会
	794-0007 今治市近見町4-5-10
	☎ 0898-23-5004
	FAX 0898-23-5123
	発 行 日 2020.3.16
責任者	二 宮 英 治